

## 7. 国際交流

### 7.1 国際交流委員会

委員長：桜井 志保美 准教授

委員：加藤准教授、金谷講師、三部講師、清水講師、瀧澤助教、室野助教

事務局：宮川専門員

活動内容：

#### 1. 国際看護研修（学部科目「国際看護演習Ⅰ」「国際看護演習Ⅲ」旧カリ：「国際看護演習」）

国際看護研修（アメリカ合衆国、タイ王国）を予定し、昨年度から業者を選定し進めていたが、コロナウィルス感染拡大の影響で、アメリカ看護研修、タイ看護研修ともに中止となった。2月末現在もコロナウィルス感染は収束の予測が立たない状況であるが、次年度の国際看護研修開催に向け、業者の選定など準備を進めている。

タイ国際看護研修の受け入れ先であるチェンマイ大学から、チェンマイ大学主催の無料オンデマンド講座（テーマ：高血圧、使用言語：英語）の案内をいただき、学生・教員に情報提供を行った。参加した1年生からは、内容も理解でき、海外大学のオンデマンド講義があれば受講したいとの声が上がっている。

次年度以降に向けた課題について、アメリカ合衆国・ワシントン州、タイ王国の感染状況の情報収集を行い、感染対策を強化する。学生が現地で積極的にコミュニケーションが図れるよう英語力向上のための取り組みを行う。研修終了後、振り返りミーティングを実施し、語学力の維持向上、海外情勢の国際医療等についての学習状況、今後の海外研修・留学等の進路計画等について確認する機会をもうける等フォローアップ体制の充実をはかる。国際看護研修が中止になった場合は、学生の国際社会への関心を維持・向上のため、海外大学のオンデマンド講義やオンラインによる研修プログラムなどの紹介を検討する。

#### 2. 国際交流意識の向上をめざした取り組み

コロナウィルス感染拡大の影響で、海外からの招聘教員は中止し、語学講座等は感染予防を考慮した方法で取り組んだ。

##### 1) 教員の英語能力向上に対する取り組み

6月に希望調査を実施した結果、資格試験用の学修でなくコミュニケーション力向上の学修を希望している教員が多いことがわかった。Moodle上で、①英語学習教材や研修会の情報提供、②英語担当教員によるFAQを掲載した。加えて、英会話力向上を目指し、2年前に好評であった英語講座第3弾「通じる英語講座」をオンラインで開催し、18名の参加があった。

##### 2) 学生に対する英語講座

英語力のフォーアップを目的に、国際活動団体に依頼し学生の語学力に合わせて2コースのオンラインによる英語短期集中講座（4日間）を開講した。学生は積極的な態度で講座に参加していた。事後アンケートでは6割以上の学生がスピーキング力向上、全ての学生が英語で話すことへの自信につながったと回答した。

初級コース（対象レベル：英検2級を目指したいレベル）

達成目標：日常生活のありふれた場面での簡単なフレーズを用いた会話力

参加人数：学生6名

中級コース（対象レベル：英検2級か、それに近いレベル）

達成目標：簡単な英会話ができ、自分の考えを伝えること、困りごとを頼むことができる会話力

参加人数：学生7名

- 3) 学生に対する韓国語講座の開催（学長企画 法人本部事業教育特別活性化事業に応募  
2020年度採択 2021年度応募中 国際交流委員サポート）

語学力に合わせて2コース（月2回）を、学生の通学状況に合わせて対面・オンラインでの講座を運営した

初心者コース

ねらい:正しい発音の基本から、段階的に学ぶ。韓国の文化に触れる。

参加人数：学生15名

経験者コース

ねらい:韓国語で会話する。韓国の文化に触れる。

参加人数 学生4名

- 4) International Café（旧国際交流の集い）

ねらい：異文化に触れ、国際的視野を養う。留学生との交流。

日 時：3月10日（水）13:00～14:30

方 法：ZOOM

留学生：キム・サンヨン氏（大韓民国出身）北陸先端科学技術大学院大学大学院生

内 容：講話「日本での留学経験について～留学と言う経験による人生の変化について～」  
交流

参加者：17名（学生9名）

- 5) SIPSへの登録

文部科学省の留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」による新しい交流プラットフォームであるSIPS（Staff&student Initiative for Promoting Study abroad）に登録した。SIPSでは留学機運醸成に取り組む全国の大学が情報交換を行うことができ、今後の本学の取組に活用することを検討している。

- 6) 国際交流の掲示板

本学の国際交流活動を広く周知するために設けられた学内2か所の国際交流の掲示板に活動内容を継続して掲示している。

次年度の課題として、コロナウィルス感染拡大の影響で、留学生が日本に戻っていないことや来日していても他者との交流を最低限に抑えていることから、ネイティブの方々との対面での交流が困難な状況が予測される。ネイティブの方との交流を確保し、国際交流意識を向上させるため、国内在住の外国籍の方との交流の機会を設ける。コミュニケーション能力向上を図るため、ネイティブの講師による継続的な語学講座を検討する。